

週刊えっとう5

1987-2-16

釜ヶ崎
キリスト教協友会

釜ヶ崎の状況 ⑤ 2月9日~2月15日

2月9日(月) 夜パトロール。外キ連全体会議・KCCである。土木局と話し合い。

2月10日(火) 4時から大阪市役所で生活センターの件で交渉。市側から教育委員会、民生局の担当者出席。教育委員会「跡地は子どもの遊びと学習の場として活用します。具体的なことはきまっています。」民生局「教育委員会の残余の部分を福祉のために使います。」その後具体案をめぐって話し合ったが教育委員会が中心になって3月末までに、利用方法について案を示すことで、具体案は次回まわしになった。この朝、東京山谷で山谷争議団の労働者12人が、不当逮捕される。夜まわり。菟之茶屋中公園の仮設物に対して11日までに撤去の告示を出す。

2月11日(水) 休日で医療相談できず。

2月12日(木) 木島病院と釜ヶ崎医療連絡会議、入院患者の人権問題を話し合う。木島病院は、昨秋、府などの行政指導をうけ、今改善中という。ただし、中庭に電話一台つけるとか、500人の入院患者に対して10人ぐらいたんこを買物についで行くとか、外との通信(手紙)などについて検討中という。救対会議、今後釜ヶ崎の運動の支援をどうしていくかを話しあう。担当者連絡会、3月15日の総括集會。寒い時の緊急パトロールについて話しあう。

「朝日」天王寺公園の件を報道。

2月13日(金) 南海線沿い廃車の中で寝ていた人たちが追い出される。夜パトロール。杏林病院に入院した労働者を結核なので、広崎病院に転送する。

2月14日(土) 木島病院の人権問題について大阪府と話し合う。府は、木島病院の実態調査について検討することを約束。夜パトロール。日本橋付近では、時間にかかわらず中高生たちが襲って来る。中にはビン、石などを投げる。その証拠品の一つとして、ブロック破片を持って来る。釜日労。春闘アンケートについてまとめる。8500円では食っていけないという意見が多い。

2月15日(日) 協友会例会。

夜間パトロールから ⑤

	参加者	地区内		計	天王寺、日本橋、総計
		南	北		
2月9日(月)	34	126	26	152	302
2月10日(火)	54	123	30	153	296
2月13日(金)	44	97	54	151	345
2月14日(土)	65	112	25	137	296



釜ヶ崎訪ね感じたこと

日雇いの労働者として朝食をとる彼らを見つ、ヤの街―釜ヶ崎(あいらん地区)へ先日行って来ました。正直なところ、何だか怖くて「やめて帰ろかしら」、道中何度もそう考えました。しかし私のそんな偏見は、宿に一泊して翌朝五時前に起床し近くの労働センターに行った時にす

と朝食をとる彼らを見つめていました。すると私の父くらゐの年の男の人がやさしく話をかけて下さりました。

「親孝行せなあかんぞ。しっかり勉強して幸せにならんやぞ、それも幸せにならんやかん、幸せにならんや、なあー」目に涙を浮かべて何度も何度も言われました。また「家族の話にはノコメントや」。そう言っておいて自分から家族の話をするおじさんは二十回近く入退院を繰り返して、現在は体の衰弱のために仕事も得ることができないでいる方でした。「あなたたちを見るとやっぱり家族の話をしてしまらんや。いつもはだれも聞いてくれる人はおらんからなあ。親孝行する話をするのもな〜」ただ黙々

と朝食をとる彼らを見つめていました。すると私の父くらゐの年の男の人がやさしく話をかけて下さりました。「親孝行せなあかんぞ。しっかり勉強して幸せにならんやぞ、それも幸せにならんやかん、幸せにならんや、なあー」目に涙を浮かべて何度も何度も言われました。また「家族の話にはノコメントや」。そう言っておいて自分から家族の話をするおじさんは二十回近く入退院を繰り返して、現在は体の衰弱のために仕事も得ることができないでいる方でした。「あなたたちを見るとやっぱり家族の話をしてしまらんや。いつもはだれも聞いてくれる人はおらんからなあ。親孝行する話をするのもな〜」ただ黙々



トヤの街

釜ヶ崎で働いている彼らに

は、帰る家も温かく迎えてくれる家族もありません。いつも独りぼっちなのです。同じ人間として生まれて来て、これ以上の孤独があるでしょうか。どんなに寒い木枯らしが吹く日でも青カン(野宿)を余儀なくされ、友人の一人も持たずに日々をさびしく孤独に暮らしている彼らに、私たちは積極的に働きかけようと思います。

私は今、改めて真実を見る目、真実を聞く耳、そして真実を語る口を持つことの大切さを痛感しています。二十世紀を担っていく若者の一人として、私は釜ヶ崎で体験したことを自分自身の中に強く焼きつけ、今



日からの日々を感謝と祈りの気持ちを持って生きて行くこと願っています。私はこの目を一生忘れることはないし確信しています。もしこれを読んだ下さったなら、幸せ過ぎる、豊か過ぎる自分たちの生活を今一度振り返って、自分のなすべきことをよく

広島県 佐藤 理恵 (高校生 17歳)

日雇い仕事をしてみた

一月二十五日付声欄「野宿者へ偏見なくそう」を読み、本当に感動しました。僕は高校を卒業してから就職まで少し時間があつたので、日雇いの仕事を三日間したことがあります。その時に出会ったおっちゃんたちは人間味あふれた思いやりのある優しい人たちで、良くしてもらいました。から物落ちてきて、えらい腕、けがしてんでえ」と。

ある時、一人のおっちゃんが午後の休憩の時、話しかけてくれました。「大阪に来て対して腹立たしく思いました。時はいろんな仕事があった。そしてぼつんと一言、「まあ自分自身の中に強く焼きつけ、今、港で輸入して来たバナナとあ、いろいろあつてこつなつて

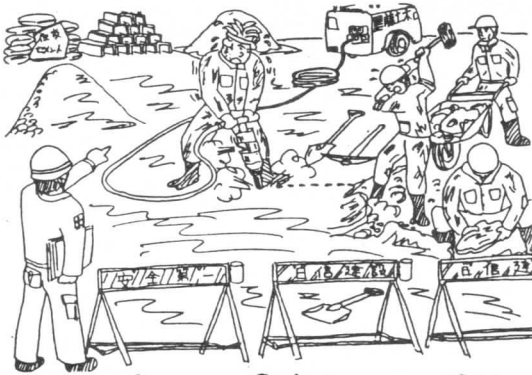
大阪市 匿名希望(19歳)



これは朝日新聞の2月14日「手紙」欄です。

この2人の若者が夜のパトロールに参加したかどうかは、わかりません。でも言えるのは、この2人は労働者の仕事を求める姿や、実さきに現場で働く姿に接してみ、はじめて労働者に対する理解を、このように深めたのだと思います。

このパトロールに参加されたみなさんも、ぜひ早朝のセンターで労働者が仕事を求める姿や、身の回りに必ずある、日雇労働者が働いている労働現場を見てほしいと思います。そして釜ヶ崎の街の、あるいは日雇労働者の、生き生きとした生活、カッコイイ生きかたがあるということを知ってほしいと思います。



参加者の声

♥ 主婦 49才

はじめての体験を何も言えそうにありません。あまりにも大きな問題なので何から関わってよいか、言葉にすればそれは何か遠くのことのように聞えそうです。でもそこから何かをしなればと思います。

♥ 枚方カトリック教会、会社員 51才
私は教会において、壮年会及び福祉社会問題委員会に属しており、会社は小さな貿易会社です。ついでに言えば妻1人子供2人の家庭持ちであるところの立場にいる私自身が、どう関わっていくか、自分なりに何ができるか、卒直に言って混乱しています。しかしながら、もはや無関心ではいられなくなった。というのが本日の成果と言えるかもしれない。とにかく、いろんな立場の方が力を合わせて実行されているやり方には、はじめて参加した私のような者もとけ込みやすい。

♥ 久米田教会 47才 男

今回で2回目のパトロールに参加させていただきました。お年寄りの方が多く、神経痛とか、肝臓病とかの持病持ちの人が多々見られ寒空の下でのアオカンはより一層身にこたえるでしょう。医療関係の気配にゆける機関の必要を強く感じられます。

♥

始めて参加させていただき、おとろきと私自身何も知らなかったことに気づきました。道路で寝おきしている人達のどうにもならない状態をみて、その本人達の心がどんなにか苦しいだろうと思い、とても心がいたみました。言葉かけをしていきながら、にこやかな返事が帰ってくるのを見て、もっと話しかけてみたいと思いながら、その人達の明日への幸せを願いつつ後にいたしました。

♥ 釜ヶ崎の問題で、警察や病院、国政が深く関係しているのは大きな驚き及び、大きなショックを受けました。

♥ 学生 19才 女

私は夜のパトロールは初めてだったのですが、この1晩でいろいろな性格のおじちゃんに出あった。おみそ汁をすこくよこんでうれしそうに飲んでくれたおっちゃん。もうふさめたそうとしたら「オしは自分で働いてるから自分のことは自分でする」と言うおじちゃん。礼儀正しいおじちゃん。

けいさつは人間の何について守っているのか。刑車らしい人が天王寺駅をみまわっている時。ずっと様子をうかがっていた。

普段はしゃべる機会がなかなかなかったけど、しゃべってみればこわくもなかったし、すこく人間(1人1人の人間)って感じがした。これからもおっちゃん達を理解していきたいと思う。亡くなったおっちゃん達を医学部が解剖しているとは、すこくびっくりした。人間を人間とっていない人達がたくさんいると思う。

♥ 学生 20才 女

今日、初めて天王寺。四天王寺まわりに行きました。天王寺駅のシャッターの降りるスカーを聞いて胸がつまりました。追い出された人達と話していると、苦労しているのに明るくふるまってくれたのがけなげでした。今日は一所に長くいすきたので、もう少し時間配分を考えたらよかったですと思いました。

♥ アベノ教会 34才 男

今日は久しぶりに日本橋コース。ほとんど運転手として動いたので数名の人としか接することができなかった。ただ、どこでも撤去通告のビラがはられ、しめだそうとする圧力

が労働者の上にひしひしとかけられていることを身をもって感じた。

♥ 夙川公会 23才 女

今年初めてのパトロール。気温も高く、めずらしく安眠しているような感じの労働者の人達が多く見られた。

撤去命令の「告」のビラを見ると本当に、何考えてんねんの一言。又、少年達のイタズラの話を会う労働者が皆語っててくれる。信じられないがこれが真実なのだなどと認めざるを得ない。私車で越冬には、これで最初で最後かもしれない機会をみつけて出来るだけ釜ヶ崎とはなれないようにしたい。

♥ 箕面教会、臨床検査技師 23才 女

初めて参加させてもらって、やはり、とまどいはありました。話を聞いたり、読んだり映画みたり、少しは知ってるつもりでも全々ダメです。もっと、自分を無にして入っていくと思います。自分の中の差別性というものもまた、思い知らされた地べたに寝ている人を見て、ふと、自分の生活と比べて、自分とは違うと思ったり……

♥ 高校生 17才 女

初めて参加させていただいたのですが、自分がどれほど「知らない」かということをおもい知らされました。今、何が本当かを自分で見極められるように、現在しなければならぬことを精一杯したいです。



週刊えっとう 6 1987.2.23

協友会越冬委員会

釜ヶ崎の状況 ⑥ 2月16日～22日

2月16日(月)

医療連会議。2月に入ってから諸活動(木島病院問題、対府交渉、対市交渉)についての意見交流を行う。夜ふるさとの家パトロール。日本橋の野宿労働者からは、土・日の夜少年たちに襲われるとの訴えがあった。5人保護、翌日3人が入寮、入院できた。

2月17日(火)

旅路の里夜まわり。雨。スズぬれの人が多し。学習会は、生活センターをめぐって、少年たちによる野宿労働者襲撃事件、天王寺博を通して話し合う。

2月18日(水)

朝8時から医療相談。予想に反して沢山の人が相談に来る。ケースも複雑である。午前市更相と話し合い。木島病院入院中(市更相経由)の5人について、市更相の面接結果(2月16日)について、2月20日回答すると約束。午後は、土木局管理課路政課と2月4日、天王寺公園周辺での強制撤去に関する5項目の申し入れに対する回答をきく。今後は、すくなくとも一ヶ月の余裕をもって、取り組むことを約束する。

2月19日(木)

大阪弁護士会人権擁護委員会は6年前、市更相に結核で相談にいった労働者が、結局、充分な相談をうけられず、行路死した件につ

いて、大阪市と市更相に対して、「救済に全力を尽せ」との要望書を出す。パトロール担当者会議。各グループの近況と共に、パトロール参加者についても意見交換。3月15日(日)の協友会越冬総括集会は、午後しかも2時～5時に参加希望者の意見が多いとのこと。スロケラム等について話し合う。各グループの活動内容と問題提起に集会の重点をおく。また、子どもたちの参加を歓迎する。

87.2.20

朝日

弁護士会が市に要望書書

保護なく死んだ重症結核患者がいた
「救済に全力を尽くせ」

西成区のおいりん地区で、「入院の必要がある」との診断書を持った重症結核患者が区内の大阪市立更生相談所(村上憲所長)を訪ねながら、保護されずに死んだことがわかった。大阪弁護士会は19日、大阪市と同相談所に対し、「入寮を促すものや、保護の必要な人の救済に全力を尽くすよう」との要望書を送った。

五十六年二月十四日、長崎市出身の無職Aさん(当時四〇)は西成区内の病室で「肺結核」を入院し、診断され、その診断書を持って同相談所に保護を求めたが、「専門医の判定を待たなければならない」といわれ、帰らされた。一月三日、西成保健所病室でレントゲン検査を受けたが、これも専門医の判定が得られず、入院や一時保護の措置を取ってもらえなかった。同五

日、地下鉄構内で行き倒れとなり、収容先の病院で死んだ。同弁護士会はAさんは当時、極度に窮していた保護を求めた時期は厳寒期で、宿泊施設のおてなかつた一など指摘。「十日以上も保護措置をとらなかつたのは適切に欠ける」としている。

2月20日(金)

医療連、釜日労は、市更相と木島病院入院中の5人の労働者について話しあう。5人中4人まで、退院可能であるが、なお検討させてほしいと言う。午後からは同じく西成福祉事務所第8係と話し合う。第8係を通して

木島病院に入院した35人について福祉事務所として面接するよう要望。西成保健所とは、市長同意についての見解をきく。夜喜望の家パトロール。やはり日本橋附近で少年たちにスロック片を投げられた人に出会う。スロックの破片持ちかえる。

2月21日(土)

雨。夜まわり。こともの里。国鉄新今宮驛裏で、廃品回収のおじさんを襲撃しようとした少年をつかまえる。日本橋附近でもグループ(3人前後)になって少年たちが襲撃しようとしているところに出会う。学習会では、あらためて「夜まわり」の意味についてみんなを考える。

夜間パトロールから ⑥

2月	参加者	地区内		計	日本橋 天王寺	総計
		南	北			
16日(月)	29	69	45	114	109 72	295
17日(火)		105	37	142	91 50	283
20日(金)	43	68	63	131	129 77	337
21日(土)	79	76	27	103	89 69	261

注 テントの中に寝ている人数の確認のしかたが各グループでちがいます。特に南。

87越冬活動総括集会予告

とき 3月15日(日) 2時~5時
ところ 喜望の家集会室

子どもたちも参加できるように、日曜日の午後になります。集会では、各グループの活動と今後について話し合います。1人でも多くの方の参加を期待しています。

— 大阪市土木局との話し合い —

2月18日

2月4日、大阪市土木局が中心になって、天王寺公園南側の道路上で生活する人々を強制的に排除しました。

その時、本人の意志を十分にたしかめずに仮小屋や生活用品をゴミのように勝手に持ちさりました。わたしたちは、その横暴さに対し、土木局に抗議しました。その抗議に対して、土木局はおおよ次のように回答しました。

① 今後は、2月4日のようなことはしない。事前に本人の了解をとる。そのために、3週間~1か月の余裕をもち、本人の希望などを聞き福祉事務所に伝える。

② 本人の持ち物については、いるものといらない物について本人から聞き、処理する。本人不在のときは(予告の1か月間)土木局が責任をもってあづかる。あづかる期間は1か月から3か月間(予定)。あづかる窓口は区民室相談係。あづかった品物について公示する。

③ 路上生活をしている本人に対する、福祉(施設入所、医療、就労)については、具体的に話し合う(まず土木局が)。また本人が直接、福祉事務所に行けるよう、事務所の電話番号と地図の入った案内をわたす。

④ 市としては、道路上で生活することは、法律上(道路法)認めるわけにはいかない。

この回答の後、質疑をしましたが、主として2月10日に予告された東区部の阪神高速の約束(回答)に従って、本人の意志や生活を

大切にすることを約束させました。みんなの抗議が、大阪市の横暴に一つのストップをかけたさせました。



西成の3つの学童保育のこともたちが中心になってがんばっています。これまでおたがいに知りあう機会がなかったこともたちが、自分たちの街のいろいろな問題を、いっしょに考えいっしょに行動することになりました。こともたちの親や、こともたちの通う保育所の先生や、小学校中学校の先生も来ています。そのほかにも教会関係の人たち、それと釜ヶ崎日雇労働組合の人たちも積極的に参加されています。そして学習会では、日雇労働をしているにいちちゃん、おっちゃんらに話をしてもらい、釜ヶ崎のこと、日雇労働者のことをいっしょうけんめい考え、がんばっています。

♥山王こどもセンター(西成区山王2-5-4)
エリザバスストローム記念山王こどもセンターは、23年前日本福音ルーテル教会のストローム宣教師が西成ベビーセンターを始めたのがその前身です。今は教会から独立してやっていますが、全国のたくさんの人々に支援してもらっています。みなさん、ありがとう!!

昼は学童保育で主に1~3歳のちびっこ

達がワイワイやってまっ!! 夜は、こども会や勉強会で中3までのこども達が集まり、こどもの里より狭くて、少々古めかしいセンターにタバタ、ワイワイ、ギャーギャー、ピーピー!! 資金あつめのために毎月バザーや古紙回収などもしていきまっせ。今後共、みんなよろしくたのんまっせ。

♥北津守学童保育所「芽」

(西成区北津守4-4-44)

障害児が、地域の中で障害をもっていないこどもと共に、いきいきと生きていく場として親たちの努力で10年前発足しました。そして、在日朝鮮人の多くいるこの学童保育では、それぞれの民族性を尊重しあえることをめざしています。

昨年2月から、3匹の犬も仲間入りしました。この中の2匹は、廃品回収をしていたおっちゃんが大切にしていた犬です。今、そのおっちゃんが入院しているため、学童であずかっています。こどもたちは、はりきって世話をしています。一年の行事では、バザー、ほんおどり、キャンプ、文化祭などがあります。

♥こどもの里(西成区萩之茶屋2-3-24)

釜ヶ崎のまん中にあり、自由来館制で学童保育をかねた児童館です。こどもに内在する内からの人格形成を助けすることを目的とし、あそびと生活相談(教育以前の問題)が活動内容です。この夜まわりでは、おにぎりやみそ汁をみんなで作ったりして、一番はりきってがんばっています。「里夜まわりだよ」を出していますので読んでください。

参加者の声

♡ 学童保育、小僧ずし 30才

この前、北回りに行って新今宮駅のおばあちゃんと初めて話した。今日も話したいと思って、北回りに行き、いろんな話をした。この前は、「自分の親を大事にしなさい」と言われ今日は、(いっしょにパトロールしている)「ねえちゃんやにいちちゃんを大事にしたらええんや」と言われた。いつも、みぞ汁やカレーなどは絶対にいらぬと言われ、それだけに対等に話が出るのかもわからない。今後も、夜回りの時だけでなく、電車を乗り降りする時にも、話をしたい。

♡ 修道士 38才

雨で大変であった。雨の時は、もっと早く対処できないものかと考えさせられた。カレンダーをはって、ガードをいかに自分の場を確保している。おじさんをみたとき、一日一日の貴重さをあらためて、かんじさせられた。

♡ 19才

はじめて参加しました 青カンをやっている人のたくましさ みんなが“ありがとう”といってくれてまたこれから参加しようという気になりました 話しにきいていたとうり おっちゃんたちは こわい人ではなくやさしい人でした。

♡

雨天のパトロールも大変なことながら寝る所もなく場所をさがし求める人々の心配そうな顔つきがとても印象的でした。同じ人間と

して、その幸せを1つでいいから一緒に見つけてあげられたらと思いましたが…この寒い冬空にせめて、あたたくしておやすみしてほしいと思いました。寝る場所をさがし求めている人々が多かったのが心のこりでした。

♡ 修道士 45才

研究会を感じたこと、戦わなければならないのは行政より実情を知らない一般市民のような気がした。(天王寺のことを聞いていても)そしてその市民が実情を知った時、本当の人間愛にその心が行くまゝには、それを心のプロセスがあると思う。その心の成長の段階があるのを知ってほしいなあと、自分のことを考えて感じました。例えば、青カンしている人を見て ああきたない→あの人も人間なのだ→どうして?→……→

♡ Student 27才

みぞ汁をくばるとか毛布をくばるだけでなく、もっと色々なやり方をしたらと思った。今日は雨だったので、もっとぬいぬい所へ移してあげたかった。もっと差別けをしてもよいと思った。

♡ 被昇天修道士 50才

天王寺の博覧会の所にきたフェンスを見て、人間よりも動物や花が大切にしているのをあらためて感じて、けしからんと思いました。一人の労働者は「わしは万博やオリンピックに働いた」と言っていました。聞いていた話しは、直接に労働者の口より聞いてすごしいと思いました。



週刊えっと

1987.3.9

協友会越冬小委員会

釜ヶ崎の状況 ⑦ 2月23日~28日

2月23日(月)

釜日弁は、87年春闘に入。これまで業者の実態調査をして来たが、今朝からは、業者との賃金(9000円)の確認に入る。ツプっていた業者も、9000円(最賃)を認めざるをえない。ふるさとの家パトロール。最後なので26号線沿いもパトロールする。参加者との話し合いの結果、これから月曜タラースは、8時~9時にかけて、オニキリパトロールをすることにす。

2月24日(火)

夜、旅路の里タラースの夜まわり。40~45人参加で、場所が狭い。最後の話し合いで、3月からは、木曜日10時から夜まわりをすることにす。金曜日、3月中医療相談は(医療センター前)しないが、診察依頼券は発行する。日本橋の少年たちによる襲撃に対して取りくまなければならない。

2月25日(水)

医療相談。相談者12-3人。大阪市立更生相談所は、1月9日の職員による労働者Hさんへの差別発言で、所長が口頭で謝罪(次ページ参照)。春闘ニュースは、9000円を認める業者名を発表。

2月26日(木)

大阪府環境局は、木島病院の件で、大阪精神医療人権センター、釜ヶ崎医療連と話し合

う。木島病院については、その実態をほとんど把握していないことが明らかになる。大阪府衛生部の言い分をそのままのみにしていた。こちらの申し入れに対して、再度、実態を調べたうえで話し合いをすることを約束。時期については、市議会その他の関係で未定。午後から、医療連は、浪速区環境浄化対策委員会が中心になり進めている。阪神高速道路下の強制撤去について、区民室と話し合う。とくに土木局が約束した諸条件を守るとともに<寄せ屋>さんの生活を守るように申し入れた。また日本橋周辺で、野宿する寄せ屋さんたちが、少年たちに襲撃されている件について、区としても根本的な対策をたてるように申し入れる。後日、回答を聞きに来ると言った。夜は、担当者会で、とくに3月15日の集会のもち方の内容について話し合う。参加者を中心に、パトロール以後のことについて話し合うことにす。

2月27日(金)

喜望の家パトロール。救急車で運ばれた人が出されている(病院側の言い分だと、患者さんが勝手に出て行くと言う)。金曜日でも、少年たちに襲われた話を聞く。今後の件で話し合い。週一回、風間パトロールすることになった。

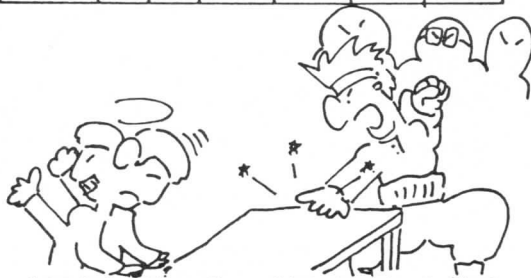
2月28日(土)

こどもの参加が40人、おとなが40人。今中

の先生も6人が参加。こどもの里の最後の夜
まわり。相変わらず、少年たちの襲撃は続いて
いる。学習会はまとめ(感想)。午後から学
童保育「芽」、山王こどもセンター、こども
の里のこどもたちが集り話しあう。夜まわり
を続けたいという意見が多い。また、釜ヶ崎
や地域に、自分たちの新聞をくばりたいとい
う意見も。さらに、こども会を合宿するこ
とを申し合せる。

夜間パトロールから ⑦

2月23日 28日	地区内		地区内 合計	日本橋	天王寺 ア べ の 四 天 王 寺	総計
	北	南				
23日月	57	96	153	100	85	338
24日火	56	63	119	111	92	322
27日金	55	85	140	133	70	344
28日土	39	79	118	97	76	291



大阪市立更生相談所、労働者Hさんに謝罪
2月25日

大阪市立更生相談所と愛隣会館生活相談室
は、去る1月9日、労働者Hさんの人格をい
ちじるしく傷つける発言をしたとして、村
上 所長の名において、口頭ではありますが、謝
罪しました。事件は1月9日、Hさんが手の
骨を骨折した件で、市更相、さらに生活相談
室に行ったとき起きました。骨折を手にギブ
スをはめたHさんが、生活に困ると言ったら、
担当のケースワーカーが、「その骨折うそかほ

んとか調べてもらおう」と言い、生活相談室
では「お前、お前」と呼ばれたうえ、「うそ
つき」呼ばわりまでされました。

Hさんの訴えを聞いた越冬闘争実行委員会
は、調査のうえHさんに謝罪するよう1月10
日をかききりに市更相と何度も話し合いま
した。その結果、2月25日、村上所長名にお
いて、おおよそ次のような謝罪をしました。

1月9日、職員への対応において疑義を招い
た件について、申し入れを受けました(越冬
実より)。市更相ならびに生活相談室は、常
々、面接等におけることは、態度について細
心の配慮をしてきました。年始にも人権尊重
の立場で業務にあたるよう指導してきました。
しかし、1月9日の面接の中でHさんに大変
迷惑をかけたことでは、今後所長としても充
分指導していきたい。Hさんにも不快の念を
あたえたが、今後ないようになりたいので訂
解いただきたい。

また、補足として、「組織として欠けたこ
とは充分おぎなっていきたい」とも所長は光
言しました。また、越冬実とは別に、現在自
強館で療養中のHさんにも市更相、生活相談
室として個別に謝罪することを約束しました。

話し合いの最後には、今後このような事件
がないよう努力されるとともに、この事件を
契機に、労働者にとって信頼される市更相に
イメージチェンジしてほしいと要請しました。



参加者の声

♡ 19才 夙川カトリック教会

私がかまが崎に来たのははじめてですが、これまでスライドや話などは聞いてきました。私の住んでいる所とは全然ちがいます。今までにも、貧しいおじさんを見たことはあるのだけれど、話すのははじめてで、何て話しかけていいのかもわからず戸惑ったのですが、どのおじさんも私たちの声にいやな顔をせず話してくれました。この町にはたくさんの結核の人がいて、保護してもらえず、治さずに働いていると聞いておどろきました。

♡ 18才 学生

学校で宗教の時間に、先生から色々な話を聞いたりビデオを見たりして、だいたいの感じは自分で分かっていたつもりでした。でも、実際に体験してみて「かまが崎」という言葉というか場所に対してのとらえ方が「すこしずつ」変わってきているのが自分でもよくわかります。どういうふうに変ってきているかはうまく言えませんが、自分はどこで何ができるのか、どうしたらいいのか、などがさっぱり分からなくなってきました。今、ここでこの結論づけはできないけれど、時間をかけて、よく考えて、結論をだしたいと思います。もしかしたら、2度と来ないかも知れないです。

♡ 18才 学生

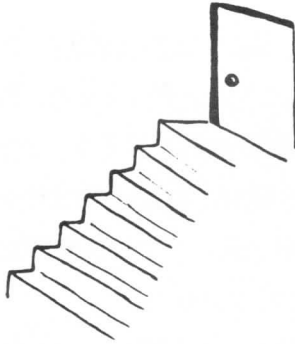
私は、北の方をパトロールしてみても感じたことは、道にねてるおっちゃんに声をかけた

時、又は毛布をわたした時、すこく明るく応たいしてくれたことに感動しました。それまで(朝や風まて)は、おっちゃんに声をかけてもらったらこわがってました。ちょっとはやあしに歩いて、少しおっちゃんたちが近づいてきたら、さけるような感じでした。でも、パトロールでおっちゃんたちに対する感じ方が変わったようです。私たちには、まだまだへんけん、無いしきのうちに差別してしまう心があるように思えた。それから、リヤカーの上でねてるおっちゃんにゆるしをもらって写真を撮った。おっちゃんはすこくさびしそうだった。涙が出そうになった。

♡ 18才 学生

はじめて夜まわりに行ってみて、ほんとうに感じた事は「なんでこんなにたくさんの人がこんな所でねてるの?」という事です。私の家の近くでは1人の人が地下鉄の上あたりで毛布にくるまっていると、みんないやな顔をしたり、働かんから悪いとか決めつけて、誰も問題としてとり上げようとしなかったけど、今日見て回ってみて、何か見えなかったものや、見ようとしなかったものが見えてきて、マザーテレサが「ほんとうにうえている国は日本である」と言われたということが、少しはわかったような気がします。私達はもっともっと多くの人に、この現状を伝え広めていき、ほんとうの心の豊かさみたいなものを、作り出していきたいなあと思いました。





♡ 49才 夙川教会 会社員

娘の誘いで初めての参加。学習会の真剣に発表する皆んなの意見に感動。パトロールでヒルの陰、地下道の階段で横たわっている人影を目ざとくみつめてかけ寄る人。何んとも言えない(割り切れない)気持ちでした。人の姿にかくも差があつていれるものか。命の尊厳には、いささかも差があつてはならない。このパトロールに携わっている人々の貴重な心を生かさなければ……皆さん方の行動に敬意の気持ち一杯です。

♡ 17才 枚方カトリック教会

私は、今回初めて参加したのですが、全くようりょうがつかめなくて、ただ、ぼおとしてしまつて、おみそするのポットを持っていたけど、もっとさつとしないといけないうのに、うろろしてばかりで、だいぶしてから「こんばんわ」とか口に出せた。でも次に来た時はもう少し役に立つようになりたいです。今日来て、自分は今まで何してたのかなあとか思って、そして、もっともっと、いろんな世界を知らないといけないなあと思ひました。でも今日、体験できてよかったと思うし、はじめにたくさんの人の意見が聞けて本当に、よかったです。

♡ 28才 神戸教会

兵庫の2.11集会の折、小柳伸顕さんより、「人間を人間としてみる」感性に教会の人々は弱いというような指摘をうけ、教会の現場においても、自分の感覚が麻痺しているのに新ためて知らされた。釜ヶ崎での経験を、神戸の場でも生かしていかなければと思つている。

♡ 19才 枚方カトリック教会 学生

初めての夜回りでした。(南回り)道を寝ているおじさんたちの数は少なかったようです。今日はそんなに寒くなかったからいいけど、まだ大変な日が続くのだろう。苦しいだろうと思う。夜回りよりも学習会の方が印象深かった。

♡ 27才

今日は初めて天王寺回りへ行つたが、みそ汁がよく出たのと、私たちの問いかけにきちんと対応してくれたのが印象的だった。それに、非常に感謝されていいことをしている気分が初めてなり、自己満足とはこういうことかということ、少しだけわかつたような気がする。おじさんたちは礼儀正しすぎるなあと感じた。吉岡さんの丁寧な解説つきで、このコースは初心者向きのコースという印象だ。(いつもは暗いので、おじさんの表情が近づかないとわからないけど、回りが明るいのでよく見えた)今日は、自己満足のパトロールで、いけないなあと思つた。



☆

☆

☆

♡ 23才 みのお. りんしょうけんさぎし

始めて日本橋へ行った。しのぎにあった人2人の話を生で聞き、こんな事がホンマにあるんかとびっくりした。うち1人は警察が救急車を呼んでくれたそうやけど、他の人の話では、交番に行っても相手にしてくれへん、とか。あと、足が痛い人があって医療センターへ行くように勧めたら、横の人が「あんなどこ行くな、行ったかてしゃーない」ととなって、完全に不信感を持ってはった。カイロとか毛布とか、いるかたずねて「わしはあったかいから他の人にやってくれ」とか、けがした人を助けてあげたり、仲間思いの人が多いのにホッとする。こっちも助けてもらったような。毎回考えさせられます。

♡ 19才 阿倍野教会

今日で2回目です。勉強会の話でだいぶ反省しました。今まで越冬などにきている人と同じように(言葉では表せませんが)思ってたつもりでした。それともう1つ、自己満足であったことも認めます。今はなにがなんだかわからなくなりました。こんな考え方をしているくせに参加して人と接するな、といわれそうですが、私は参加してそして、考え方を生き方をみつけないと思いません。

♡ 21才 夙川カトリック教会

初めて参加しました。クラス関係でスラムの車について学習してきて発表した時に“大阪の大学なら釜ヶ崎があるやないか、わざわざ海外のことしなくても”と言われたのが、自分と釜ヶ崎の接近でした。この日本でこのような事が、この矛盾……疑問だらけですが

机の上で話を追めるよりはまぎれ体験! 自分なりの答を探しながら、と思ってます。それには何より労働者の対話が必要です。この夜回りでは、それを解決してくれる機会が少ない。ただ同じ世界で路上で人が人知りず死んでいくのは……なくせれば…

♡ 20才 叔方カトリック教会

私は越冬パトロールは2回目で、今回は南回りでした。駅の裏でいらっしゃった方、センターの前にいらっしゃった方は、思ってたより明るく応たいしてくれた。1回目に比べ少し話しをできたような気がします。次回も参加したいと思います。

♡ 20才 夙川教会 学生会 学生

初めて来ましたが、自分の環境とは全くちがっていて、はっきり言ってとまどいましたが、最後になってやっと慣れて来ました。次の機会があればぜひ参加したいです。それから、自分がどんなに幸せな環境にいるかということを感じ知らされました。

♡ 21才 神戸教会 大学生

それほど寒くなかったが、多くの人が外で寝ているということは大変ショックでした。日本は、もう少しなんとかよくなるのかと、腹立たしかった。

♡ 22才 神戸教会 サービス業(外食)

向かうごかったなあ。新型カーリーナとのコントラストがすごく印象に残った。



♥ 36才 夙川教会

協友会の夜回りは一応は今日で終わり。でも、オッチャンたちの青カンは明日もあっても続く。みんなが人間らしい生活ができる社会を、一日も早く実現したいものだ。

♥ 22才 学生

今日は前回よりも寝てはる人が多かった。最後の方のおっちゃんの一人は毛布なしで寝ていたのだが、あげる毛布はなかった。今回で夜回りは終りやけども、それで釜ヶ崎と自分との縁が切れるのではなく、これからもうといった問題を考え、また自分のできることからでも何かをやっていきたいと思う。

♡ 50才 シスター・マリア

日本橋へ行ってショックでした。しのぎやにやられた人がいました。又、もう一人のおじさんが話してくれたのは、一週間前にくぎがついている棒をやられて、一週間の間がまんしていた。話してくれた人が自分で「しょうちゅう」を充当していたが、とうとう今日たおれてしまって救急車でこぼれた。警察に話していたら「服装をおぼえていたら向とかできますが…」けっきょく向もしてくれない。友だちのことを大変心配していたようです。今日は、この冬のパトロールが一応終ります。本当にありがとうございます。「生きる」大切さを、もっと深くさとらせて頂きました。学習も、すごく準備して下さってとてもよかった。木曜日たぶん来ませんが、火曜日昼から雨のうかがいにきます。又よろしくおねがいしま

★—越冬を終って—★

協友会のパトロールは一応終りましたが、それぞれのグループは独自に活動を続けています。3月7日(土)は大雪の中、こどもたちは夜まわりを続けました。

越冬闘争は終っても、釜ヶ崎をとりまく状況はなんら変わっていません。手配師、人夫出しのピンハネ搾取、精神医療をはじめとする医療問題、老人の問題、アルコール依存症の問題、そして労働者の街の中で育っていくこどもたちの問題。おにぎりをおぼることもちの横を、おなじ年ごろの少年が、おっちゃんたちにスロークやピンを投げつけ走りさって行く。これらのことはすべて、資本にとって使いものにならない人間を、社会にとって必要のない人間として、切り捨てていくということ一本につながります。釜ヶ崎はそんな今の社会のあり方が、ぜんぶうつし出されています。

この冬、パトロールをふくめ、さまざまなかたちで越冬闘争に加わってくださったみなさん、ありがとうございます。これからもそれぞれの場で、「夜まわり」なんかなくてもいいような社会をめざして、共にがんばっていきましょう!

国際居住年

